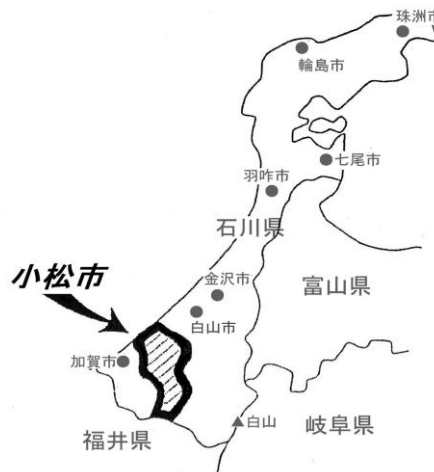


石川県小松市

小松市小馬出町91番地
 担当課: 予防先進部いきいき健康課
 〒923-8650
 電話: 0761-24-8161 FAX: 0761-23-640

本市のデータ

- (1) 面積 27.53km²
- (2) 人口 108,460人
(令和元年10月1日現在)
- (3) 世帯数 43,935世帯
- (4) 沿革 昭和15年市制施行
- (5) 産業構造
右図の通り



◆産業別(事業所・従業員)(民営)

産業別	平成28年	
	事業所数	従業員数
農林漁業	22	208
鉱業、採石業、砂利採取業	1	5
建設業	585	2,915
製造業	959	15,720
電気・ガス・熱供給・水道業	7	240
情報通信業	37	412
運輸業、郵便業	109	1,953
卸売業、小売業	1,329	8,868
金融業、保険業	72	805
不動産業、物品賃貸業	211	728
学術研究、専門・技術サービス業	235	1,605
宿泊業、飲食サービス業	655	4,733
生活関連サービス業、娯楽業	489	2,148
教育、学習支援業	163	1,471
医療、福祉	315	5,683
複合サービス業	43	651
サービス業(他に分類されないもの)	316	1,879
合計	5,548	50,024

(平成28年経済センサス活動調査 結果から)

本市の概要

小松市は石川県の西南部、加賀平野のほぼ中央部に位置し、東は霊峰白山を望み、西は日本海に面している。面積は371平方キロ、人口は約11万で、南加賀の交通、文化、経済の中心的役割を担う都市である。加賀百万石の三代藩主、前田利常公が隠居して、金沢から小松に移り、城を大修理し、街の整備を進め、城や神社寺院を造営修理し、絹織物、製茶、製陶などの各種産業を育成し、町を繁栄させたことによって、今日の小松市の礎が築かれた。小松の産業としては、古くから絹織物が栄え、繊維業が盛んなほか、伝統産業の窯業「九谷焼」、い草の畳表ブランド「小松表」も全国的に有名である。また、小松は北陸三県の自治体としては初となる「環境王国」として認定されており、「安全・安心・本物」の農産物や加工品を消費者に提供できる地域ブランドとして、全国の環境王国と連携している。交通網では、北陸自動車道小松インターやJR北陸本線小松駅に加えて、国内主要都市や国際線としてソウル、上海、台北にネットする小松空港を有し、北陸の空の玄関口としての機能を有している。観光では、歌舞伎十八番「勸進帳」の舞台として有名な「安宅の関」、250年余りの歴史を誇り、日本三大子ども歌舞伎の一つが演じられる「お旅まつり」、泰澄大師により発見されたと言われる北陸最古の名湯「栗津温泉」などがある。

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

- 1 社会的な取組みとして自殺対策を推進する
- 2 生きることの包括的な支援として自殺対策を推進する
- 3 自殺対策における啓発と実践を両輪で推進する
- 4 関係者の役割を明確にし、各関係団体が連携・協働して取り組む

＜具体的な取組み＞

【中学校2年生を対象とした「命の大切さを学ぶ講演会」について】

自分や友人等周りの人の命を守るために、辛いときや悩みを抱えたときには助けを求めても良いことを伝える「SOSの出し方」や、「ゲートキーパー」の役割等について精神科医による講演会を平成25年度より実施しています。



●講演会「かけがえのない将来ある命」の内容

1. 自分を大切にする
2. 友達や周りの人を大切にする
3. SOSの出し方
4. 人とのつながりや支え合うことの大切さ
5. 心の健康

●講演を聞いた生徒の感想（一部抜粋）

自分達の命は本当はかけがえのないものなんだと改めて思いました。この世に一つしかない命を両親や先生方、友達に「守り続けたい」「大切にしたい」と思ってくれているのだから、自分も相手を尊重して「自分や相手の命を大切にする」ことを忘れずに、これから先を生きていきたいと思えます。「たった一つの命」だからこそ、命を粗末にはしてはいけないと思うし、相手の心の傷つくような悪意のある行為等もしてはいけないと思えます。友達の相談を受け、そのありのままを受け入れて聴いてくれるような人になりたいです。また、相手の異変に気づいて、いち早く助けてあげられる人間になりたいです。

また、SNS等のインターネット上の有害環境に巻き込まれる問題もあることから、学校保健委員会にネットトラブルに関する講演会を企画・開催している小学校もあります。

【中学校保護者を対象とした「かけがえのない将来ある命」について】

生徒にとって一番身近な存在である保護者を対象として、令和元年度より希望があった中学校保護者会で精神科医による講演会を実施しています。

●講演会「かけがえのない将来ある命」の内容

1. 子どもの悩みの聴き方の基本
2. 子どもの悩みの聴き方のコツ
3. 悩みを聴く上での注意事項
4. 子どもの心の不調に気づくために

●講演を聞いた保護者の感想（一部抜粋）

中学生という難しい年頃の子ども達。できることも多く理解もしてくれるので、普段からつい頭ごなしにこちらの意見ばかり言ってしまうがちだと反省しました。何でも話してくれるよう、相談しやすい自分でありたいと思いました。自分の事ばかりではなく、子ども達の話さけるよう気をつけていきたいと思えます。

【相談先掲載ポスター、カード、リーフレットの作成と配布】

当市では、虐待や自殺、引きこもり問題、障がい理由とする差別など、あらゆる問題を解決するために、行政と関係機関が連携し「小松市くらし安心ネットワーク協議会」において総合的な対策を進めています。本協議会を構成する5つの部会のうち、自殺対策については「いのちと心の部会」において協議を行っています。

毎年作成している相談先カードに加え、今年度は相談先掲載ポスター・リーフレットを作成しました。ポスターは各公民館や病院・公共施設への掲示を依頼しました。リーフレットは自身の心の健康のためにできることや、周囲の人の心の健康のためにできること等を記載し、必要時は相談先につなぐことを説明したものです。今年10月に全戸配布を実施し、各家庭での活用を呼びかけました。より一層の相談先の周知を目的として、公共機関・医療機関・公民館・銀行・郵便局へも配布を行っています。



- 右写真：相談先掲載ポスター(左)リーフレット(右)カード(下)